

グループホームの目的

介護予防認知症対応型共同生活介護とは、少人数の家庭的な雰囲気の中で、共同生活を送る認知症の方を支援するサービスのことを言います。5～9人という人数の中で生活することによって、認知症の症状の進行を遅らせ、日常生活をできる限り自立して送ることができるようにしていく、要介護状態へ移行しない、現在の状態が悪化しないように対応する

グループホーム基本方針

「個人の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられる様に支援する」

- (1) 上記の基本方針のもと、全職員のベクトルを合わせ、入居者と職員の笑顔が絶えないホーム創りを目指します。
- (2) 職員の知識・技術の向上を目指し、内部研修を実施し、より良いケアに繋げていきます。
- (3) 季節に応じた行事を利用者が楽しめることを第一に考え、利用者ご家族、地域住民の方など出来る限り多くの方に参加して頂ける様に計画し、当ホームが地域に支えて頂ける体制の構築に取り組んでいきます。